



報道関係者各位
プレスリリース

2014年10月15日

特定非営利活動法人 東日本大震災子ども未来基金

「東北子ども博」に参加

東日本大震災子ども未来基金は、10月12日(日)と13日(月)の連休に、宮城県柴田町の仙台大学キャンパスで開かれた「東北子ども博」に参加、おおぜいの子どもたちや入場者が基金の企画したイベントで楽しみました。

当基金は、仙台大学や柴田町とともに、子ども博実行委員会に加わり、基金の高成田享理事長が実行委の副委員長として参画するとともに、当基金から10万円の協賛金を拠出、基金が企画した「蜜ろうの双子キャンドル作り」と「親と子のライフセービング教室」のふたつのイベントを実現させました。



キャンドルづくりは、山形県朝日町の蜜蝋作家、安藤竜二さんの指導によるもので、昨年に続き、子ども博の出展は2度目。蜜蝋づくりを支援する「キャンドル・リンク・ネットワーク」の人たちもボランティアで、子どもたちの蜜蝋作りを手伝ってくれました。子どもたちは、溶けた蜜蝋のなかに糸を垂らし、引き揚げるごとに太くなるキャンドルに、驚いた

り、喜んだりしていました。

イベントの終了後、材料費としてひとり200円ずつ参加者から集めたお金の全額76,500円が安藤さんから当基金に寄付されました。あらためて安藤さんとキャンドル・リンク・ネットワークの人たち、さらにはボランティアとして手伝ってくれた仙台大学の学生に、当基金として感謝の意を表します。

〔プレスリリースに関するお問い合わせ〕

特定非営利活動法人 東日本大震災子ども未来基金

〒980-0804 仙台市青葉区大町2-3-12-902 電話：022-397-8856 Fax:022-397-8630

e-mail: info@mirai-kikin.com <http://mirai-kikin.com>

事務局長・阿部恭子 理事長・高成田享 (090-5581-9746)



「親と子のライフセービング教室」は、日本ライフセービング協会と仙台大学ライフセービング同好会の協力を得て企画したもので、協会のインストラクターである小山大介さんが約1時間にわたって、救命救急の実際について説明し、最後に参加者が人形を使って心肺蘇生の方法を学びました。宮城県気仙沼市で消防署の救命隊員として活躍する小山さんにも、忙しい業務の合間に来ていただいたことに感謝したいと思います。



〔プレスリリースに関するお問い合わせ〕

特定非営利活動法人 東日本大震災子ども未来基金

〒980-0804 仙台市青葉区大町 2-3-12-902 電話：022-397-8856 Fax:022-397-8630

e-mail: info@mirai-kikin.com <http://mirai-kikin.com>

事務局長・阿部恭子 理事長・高成田享 (090-5581-9746)